令和4年度
事務事業評価シート　　【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	06	01	05	164260	農村施設維持事業費

総合計画	分野	01　しごと	政策	04　観光の振興
	施策	01　観光の魅力向上		
目的	農村施設の快適な利用及び観光客を対象に農畜産物の消費拡大を図るための環境整備			
対象	農村施設			
意図	施設の長寿命化を図り、施設利用者の安全・安心を確保する			
事業概要	○自然休養村センター消防用設備設置業務委託（繰越明許費）2,090千円			
市民参画の有無				

市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		事業協力・協定		後援・協賛		補助・助成		委託

	活動指標	単位	区分	R03	R04	R05
1			計画			
			実績			
2			計画			
			実績			
3			計画			
			実績			

	成果指標	単位	区分	R03	R04	R05
1			目標			
			実績			
2			目標			
			実績			
3			目標			
			実績			

成果指標の達成度	-	目標値より高い	-	概ね目標値どおり	-	目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）

施設の安全性の向上のために業務を行うものであり、利用者数などで成果を測るのは困難である。

目的妥当性	公共関与の妥当性		・市が所有する施設であり、主体的に維持管理を実施する必要性がある。
	○	妥当である	
		見直し余地がある	
		妥当でない	
有効性	成果の向上余地		・大規模改修を行うことにより長寿命化が図られ、ある程度の補修の抑制が期待できる。
	○	向上余地がある	
		向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地		・現場の実態に合わせた工法等を検討しており、現場によっては代替性が乏しいことから、削減の余地はない。また、限られた人員の中で現場等との調整を図る必要性があり、人件費についても削減の余地はない。
		事業費の削減余地がある	
		人件費の削減余地がある	
	○	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地		・施設利用者の安全、安心の確保のために行う維持管理であることから適正である。
		受益機会の見直し余地がある	
		費用負担の見直し余地がある	
	○	適正である	
総合評価	今年度の振り返り	消防用設備を設置することにより、施設利用者の安全、安心を確保することができた。	
	次年度に向けて		

令和4年度
事務事業評価シート　　【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	03	174320	観光イベント開催事業費

総合計画	分野	01　しごと	政策	04　観光の振興
	施策	01　観光の魅力向上		
目的	地域資源の保全と魅力アップを図るため、まつりやイベントの開催を支援する。			
対象	まつりやイベント			
意図	まつりやイベントが守られ魅力が向上する。			
事業概要	○まつり、イベントの開催経費一部負担　64,295千円 ①南部杜氏の里まつり ②田瀬湖湖水まつり ③イーハトーブ音楽祭 ④石鳥谷夢まつり ⑤あんどんまつり ⑥イーハトーブフォーラム ⑦石鳥谷まつり ⑧花巻まつり ⑨花巻まつり特産品フェア ⑩土沢まつり ⑪大迫ワインまつり ⑫わんこそば全日本大会 ⑬大迫・宿場の雛まつり			
市民参画の有無	対象外			

市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		事業協力・協定		後援・協賛		補助・助成		委託

	活動指標	単位	区分	R03	R04	R05
1	支援対象祭事、イベント支援団体数	団体	計画	13.00	13.00	
			実績	3.00	13.00	
2			計画			
			実績			
3			計画			
			実績			

	成果指標	単位	区分	R03	R04	R05
1	支援対象祭事、イベントへの来場者数（年度）	人	目標	301,500.0	301,500.0	
			実績	150.00	108,439.0	
2			目標			
			実績			
3			目標			
			実績			

成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり	○	目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）

縮小開催や人数制限を実施したイベントがあるため、例年と同程度の来場者数には達していないが、前年度１件に対し令和４年度は予定した１３件のイベントを開催できたことから大幅に来場者数が増加した。市民のイベント参加意欲・関心度が高いものと感じられた。

目的妥当性	公共関与の妥当性		・まつりやイベント開催は民間主導で行われるべきものである。 ・まつり等を観光誘客の場として活用していることから、観光振興を図るため行政による支援を行うものである。
	○	妥当である	
		見直し余地がある	
		妥当でない	
有効性	成果の向上余地		適切な助言を行うことにより魅力を向上させることができる。
	○	向上余地がある	
		向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地		支援団体への負担金、補助金の額は、毎年十分に検討されたうえで、その年の状況に応じた額が決定されており、削減の余地はない。
		事業費の削減余地がある	
		人件費の削減余地がある	
	○	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地		まつりやイベントへの市民が参加する機会は平等に与えられている。
		受益機会の見直し余地がある	
		費用負担の見直し余地がある	
	○	適正である	

総合評価	今年度の振り返り	３年ぶりに１３あるイベントすべてを開催することができた。コロナ禍によりイベントができなかった期間があったにも関わらず、感染症対策を実施しながら開催いただいたイベント主催者の活動努力が見られた。 また、コロナ禍に対応した、新しい試みがなされているイベントも見受けられた。
	次年度に向けて	イベントへの来場者数増加へ向け、主催者とともに集客や周知方法などを練っていく必要がある。 来場者数増加により、イベント収支の向上・関連事業者の収益拡大を目指す。

令和4年度
事務事業評価シート　　【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	03	174330	広域観光推進事業費

総合計画	分野	01　しごと	政策	04　観光の振興
	施策	01　観光の魅力向上		
目的	市内への誘客を促進するため、広域的な観光資源の組み合わせによる事業を展開する。			
対象	観光客			
意図	花巻を訪れる機会が広がる			
事業概要	○釜石線沿線広域エリア活性化委員会事業支援　400千円 　釜石線沿線地域の自治体等とＪＲ東日本が連携して、ＳＬ銀河の運行を軸とした観光ＰＲを行う釜石線沿線広域エリア活性化委員会への負担金 ○花巻・遠野・平泉観光推進協議会事業支援　600千円 　花巻・遠野・平泉観光推進協議会が実施する広域的な誘客への取組を支援			
市民参画の有無	対象外			

市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		事業協力・協定		後援・協賛		補助・助成		委託

	活動指標	単位	区分	R03	R04	R05
1	連携する他市町村数	団体	計画	6.00	5.00	
			実績	6.00	5.00	
2			計画			
			実績			
3			計画			
			実績			

	成果指標	単位	区分	R03	R04	R05
1	広域（花巻・遠野・平泉）観光客入込数（暦年）	万人	目標	587.20	486.10	
			実績	294.00	423.30	
2			目標			
			実績			
3			目標			
			実績			

成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり	○	目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）

新型コロナウイルス感染症の感染が拡大している時期は、観光客も広域での移動を控える傾向があったことから、感染拡大の時期が長引いたことにより、花巻・遠野・平泉エリアへの観光客入込数は、目標値を下回った。

目的妥当性	公共関与の妥当性		観光客入込みが伸び悩んでいる中、広域連携による旅行商品造成・観光ＰＲ等に必要な支援を行う必要がある。
	○	妥当である	
		見直し余地がある	
		妥当でない	
有効性	成果の向上余地		他地域との連携により観光地としての更なる魅力向上が見込まれる。
	○	向上余地がある	
		向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地		一時、平泉への入込数が減少したことからツアー回数も減少したが、商談会等での積極的なＰＲ活動等により増加してきたため、これからの事業費を一旦見直す時期である。
		事業費の削減余地がある	
		人件費の削減余地がある	
	○	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地		観光振興は市全体が受益となる。
		受益機会の見直し余地がある	
		費用負担の見直し余地がある	
	○	適正である	
総合評価	今年度の振り返り		広域観光に関連した大々的な誘客キャンペーンがコロナ禍により実施できなかったが、釜石線沿線でのＳＬ銀河乗客のおもてなしなど、可能な範囲で現状に合わせた取り組みを実施した。
	次年度に向けて		６月にＳＬ銀河の運行が終了することから、それを惜しむＳＬ関連客数の増加を見込む。 観光需要は回復傾向となっており、関係する自治体及び機関と連携した更なる誘客関連事業の推進・強化を図る。

令和4年度
事務事業評価シート　　【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	03	174380	観光施設維持事業費

総合計画	分野	01　しごと	政策	04　観光の振興
	施策	01　観光の魅力向上		
目的	観光施設の長寿命化を図るため、施設の調査・改修等を行う。			
対象	観光施設			
意図	施設を適切に維持管理し、施設の長寿命化と、利用者の安全・安心を確保する			
事業概要	○イギリス海岸護岸階段修繕　9,295千円 ○花巻市交流会館屋上空調設備改修工事基本設計業委託　990千円 ○花巻市交流会館屋上防水業務委託　6,050千円			
市民参画の有無				

市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		事業協力・協定		後援・協賛		補助・助成		委託

	活動指標	単位	区分	R03	R04	R05
1	観光施設の大規模修繕、改修計画策定及び再検討等	件	計画	1.00	1.00	
			実績	0.00	3.00	
2			計画			
			実績			
3			計画			
			実績			

	成果指標	単位	区分	R03	R04	R05
1	観光施設の維持修繕件数	件	目標	30.00	20.00	
			実績	20.00	21.00	
2			目標			
			実績			
3			目標			
			実績			

成果指標の達成度		目標値より高い	○	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）

観光施設に必要な維持修繕を行うことで施設の長寿命化を図り、継続した観光施設の維持保全ができた。

目的妥当性	公共関与の妥当性		・市が所有する施設であり、主体的に維持管理を実施する必要性がある。
	○	妥当である	
		見直し余地がある	
		妥当でない	
有効性	成果の向上余地		・大規模改修を行うことにより長寿命化が図られ、ある程度の補修の抑制が期待できる。
	○	向上余地がある	
		向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地		・現場の実態に合わせた工法等を検討しており、現場によっては代替性が乏しいことから、削減の余地はない。また、限られた人員の中で現場等との調整を図る必要性があり、人件費についても削減の余地はない。
		事業費の削減余地がある	
		人件費の削減余地がある	
	○	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地		・施設利用者の安全、安心の確保のために行う維持管理であることから適正である。
		受益機会の見直し余地がある	
		費用負担の見直し余地がある	
	○	適正である	
総合評価	今年度の振り返り		観光施設の修繕・改修を行うことで、来訪者及び利用者の安心安全に繋がった。 計画的な修繕を行うことで、施設の長寿命化も期待される。
	次年度に向けて		計画的に交流会館の屋上防水を行うことで、今後も利用者が継続的に使うことができる施設として維持することが可能である。

令和4年度
事務事業評価シート　　【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	03	174410	道の駅「石鳥谷」施設再編事業費

総合計画	分野	01　しごと	政策	04　観光の振興
	施策	01　観光の魅力向上		
目的	道の駅「石鳥谷」の施設の魅力向上、利便性の向上を図るため、施設の再編を行う。			
対象	道の駅利用者（国内観光客、インバウンド、自動車利用者、市民等）			
意図	交流人口の拡大、賑わいの創出を図る。			
事業概要	○地域振興施設の工事　71,554千円（うち繰越明許費38,675千円） りんどう亭大食堂屋根改修、南部杜氏伝承館展示改修（Ｒ3繰越明許） ○外構部の工事等　103,867千円 南側駐車場舗装及び広場舗装等、外灯及び身障者駐車場新築、ＥＶ用急速充電器設置、喫煙所設置等 ○移設・撤去等　13,926千円 農産物直売所解体及び下屋増設、物置移設、旧せせらぎ散策路自然石等撤去 ○国や関係機関・団体との協議、共通経費　134千円			
市民参画の有無	無し			

市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		事業協力・協定		後援・協賛		補助・助成		委託

	活動指標	単位	区分	R03	R04	R05
1	地域振興施設の工事の実施	回	計画	1.00	1.00	
			実績	1.00	1.00	
2	外構部の工事等の実施	回	計画	1.00	1.00	
			実績	1.00	1.00	
3			計画			
			実績			

	成果指標	単位	区分	R03	R04	R05
1			目標			
			実績			
2			目標			
			実績			
3			目標			
			実績			

成果指標の達成度	-	目標値より高い	-	概ね目標値どおり	-	目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）

道の駅「石鳥谷」は、国（国土交通省）が所管するトイレ休憩施設（情報提供施設兼ねる）、駐車場（国所管分）、市が所管する地域振興施設（南部杜氏伝承館、酒匠館（産直含む）、りんどう亭大食堂など）で構成する施設である。
国と市がそれぞれ所管する施設の整備や改修を連携しながら進めているが、成果として期待する交流人口の拡大や賑わいの創出については、施設再編の途中であり、事業完了後にしか検証出来ないため、成果指標は設定していない。

目的妥当性	公共関与の妥当性		道の駅は公共施設で構成しており、施設管理者（市）が関与するのは妥当である。
	○	妥当である	
		見直し余地がある	
		妥当でない	
有効性	成果の向上余地		道の駅の施設再編を行うことは施設の魅力向上、利便性の向上が期待できることから、成果の向上余地がある。
	○	向上余地がある	
		向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地		最低限の予算を見積もったところであり、事業費削減の余地はない。 また、従事職員も最低限の職員で対応しており、人件費の削減余地が無い。
		事業費の削減余地がある	
		人件費の削減余地がある	
	○	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地		道の駅という公共施設の再編に係る事業であり、施設管理者の責任で行うものであるため、受益と負担の見直し余地は無い。
		受益機会の見直し余地がある	
		費用負担の見直し余地がある	
	○	適正である	

総合評価	今年度の振り返り	地域振興施設の工事等として、南部杜氏伝承館展示改修業務（Ｒ3繰越明許）、りんどう亭大食堂屋根改修工事を実施のほか、外構部の工事等として、南側駐車場舗装及び広場舗装等工事、外灯及び身障者駐車場新築工事、ＥＶ用急速充電器設置業務、喫煙所設置業務等を実施。また、外構部の工事に先立ち、農産物直売所解体及び下屋増設、物置移設、旧せせらぎ散策路自然石の撤去を実施した。 なお、南側駐車場舗装及び広場舗装工事、仮設通路復旧業務、立ち食いそば屋の移設撤去について、市の工事と施工時期を調整して進行している国の駐車場改良舗装工事が年度を超える影響から、令和5年度へ繰り越し引き続き実施することとした。
	次年度に向けて	令和4年度から繰り越した工事及び業務委託について、引き続き国と連携しながら着実に実施する。 また、道の駅「石鳥谷」の市及び国による地域振興施設や外構部の工事の完成に伴い、道の駅開所３０周年の記念を兼ねてリニューアル記念式典を開催する。（令和5年7月15日開催予定）

令和4年度
事務事業評価シート　　【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	03	174440	観光・物産事業者等緊急対策事業費

総合計画	分野	01　しごと	政策	04　観光の振興
	施策	01　観光の魅力向上		
目的	新型コロナウイルス感染症の影響により経営に深刻な影響を受けている観光関連事業者を支援するため、誘客に資する事業を行う。			
対象	観光客			
意図	県内外から観光客を誘引することで、観光事業者はもちろん宿泊・交通・物産・飲食等の観光関連事業者を広く支援しようとするもの。			
事業概要	○温泉宿泊施設等利用促進事業　226,425千円（繰越執行47,289千円+現年執行179,136千円） 市内温泉宿泊施設等の利用者（県民）を対象に利用料を助成 ○貸切バス事業者運行支援緊急対策交付金　3,040千円 燃料費高騰の影響を受けている貸切バス事業者を対象に、事業継続を支援 ○宿泊施設等燃料高騰緊急対策支援金　5,030千円 燃料費高騰の影響を受けている市内の温泉宿泊施設等を対象に、事業継続を支援			
市民参画の有無				

市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		事業協力・協定		後援・協賛		補助・助成		委託

	活動指標	単位	区分	R03	R04	R05
1	支援を行う温泉宿泊施設等	箇所	計画	34.00	36.00	
			実績	37.00	37.00	
2			計画			
			実績			
3			計画			
			実績			

	成果指標	単位	区分	R03	R04	R05
1	観光客入込数（暦年）	千人	目標	2,106.00	2,076.00	
			実績	1,098.70	1,574.00	
2			目標			
			実績			
3			目標			
			実績			

成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり	○	目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）

コロナ禍に加え、燃料高騰などの影響を受けた観光事業者を支援する事業を行ったが、イベント等の規模縮小での開催や海外からの渡航制限などの要因により、成果指標の達成に至らなかった。

目的妥当性	公共関与の妥当性		事業の実施により誘客促進が図られ、事業者への経済的な支援となることが目される。
	○	妥当である	
		見直し余地がある	
		妥当でない	
有効性	成果の向上余地		事業の実施にあたっては、花巻観光協会や温泉宿泊施設等関係者の意見も随時聴取しながら、時宜を捉えて状況に応じ展開する。
	○	向上余地がある	
		向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地		事業立てにあたっては、関係者からの意見等も踏まえながら事業費や人件費を精査しており、いずれも削減余地はない。
		事業費の削減余地がある	
		人件費の削減余地がある	
	○	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地		観光振興は観光客・観光事業者はもちろん、宿泊・交通・物産・飲食事業者等、受益者は多岐にわたる。
		受益機会の見直し余地がある	
		費用負担の見直し余地がある	
	○	適正である	

総合評価	今年度の振り返り	コロナ禍に加え、燃料等の高騰は、観光関連事業者の経営に影響を与えたが、国や県の施策や感染症の拡大状況を見極めながら、市において事業者への支援を実施したことにより、事業継続が図られ、令和４年の観光客入込数は、令和３年を上回った。
	次年度に向けて	観光需要は回復に転じてきているが、新型コロナウイルス感染症に加え、原油価格・物価高騰が続いていることから、引き続き、観光関連事業者の意見や状況を随時聴取しながら、必要な施策を実施する。

令和4年度
事務事業評価シート　　【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
				174470	イベント開催時感染症対策支援事業費

総合計画	分野	01　しごと	政策	04　観光の振興
	施策	01　観光の魅力向上		
目的				
対象				
意図				
事業概要				
市民参画の有無				

市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		事業協力・協定		後援・協賛		補助・助成		委託

	活動指標	単位	区分	R03	R04	R05
1			計画			
			実績			
2			計画			
			実績			
3			計画			
			実績			

	成果指標	単位	区分	R03	R04	R05
1			目標			
			実績			
2			目標			
			実績			
3			目標			
			実績			

成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）

目的妥当性	公共関与の妥当性	
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
	適正である	
総合評価	今年度の振り返り	
	次年度に向けて	